

世田谷稲門会
創立 **20** 周年



早稲田大学 世田谷稲門会



EXECUTIVE HEALTH SCREENING

Medi Compass Club

Membership Medical & Wellness Club



21世紀は予防医学！

早期発見・早期治療が健康寿命維持のキーポイント！

メディコンパスクラブは、東京クリニック・新百合ヶ丘総合病院の全面的な協力のもと
各種ドックから治療・入院まで、最良の安心を提供する会員制の健康クラブです。

多彩なドックを備えた高機能クリニック

東京クリニック



東京駅丸の内北口から徒歩3分

快適な入院環境を備える最先端医療施設

新百合ヶ丘総合病院



小田急線新百合ヶ丘駅から直通バス

会員制メディカル&ウェルネスクラブ『メディコンパスクラブ』

(株) 東京丸の内ベストドクターズサービス

代表取締役社長 寺島 邦夫 (昭和38年政経卒)

〒102-0073 東京都千代田区九段北4丁目3-26 政文堂ビル4F

TEL. 03-3239-7852 FAX. 03-3239-7858

<http://www.medi-compassclub.com> E-mail: k.terashima@medi-compassclub.com



PET-CT

64列マルチスライスCT

3.0TMRI

Digitalマンモグラフィ

サイバーナイフ

ダ・ヴィンチ

陽子線治療

会費に含まれるドックの一例：人間ドック・PETがんドック・脳ドック・肺がんドック・動脈硬化ドック・レディースドック・免疫活性の測定

世田谷稲門会 20周年を迎えるにあたって 世田谷稲門会会長 岩上健一	2
世田谷稲門会 20周年記念祝賀会、目黒雅叙園で200余名が一堂に	2
祝 20周年	4
世田谷稲門会創立20周年に寄せて 早稲田大学総長 鎌田 薫	
世田谷稲門会のさらなる発展を 早稲田大学校友会代表幹事 福田秋秀	
集まり散じ人替われども 校友会東京都23区支部長 港稲門会会長 塩浜裕夫	
おめでとう20周年 世田谷三田会会長 三宅茂樹	
世田谷稲門会 20年のあゆみ	
思い出 役員OB代表 前原祖彦	6
年表 世田谷稲門会20年のあゆみ	7
写真で見る世田谷	
世田谷散歩で思いがけない景色に出会う 世田谷稲門会写真部	8
私と世田谷	12
キャロット会・加藤隆夫／西北会・上保幸夫／玉川会・小口浩一／きぬた会・宮木 甫／けやき会・井上 文／ さくら会・能 俊彦／千歳会・倉田 豊	
部会を楽しむ	16
ゴルフ・平井恒夫／俳句・草谷好孝／スポーツ観戦・吉村豪介／麻雀・脇坂元彦／カラオケ・倉田 豊／ 芸術芸能鑑賞・武藤 哲／囲碁将棋・池松正之／食べ歩き・関根昌一 辻村ひろみ／釣り・國澤俊一／ ウォーキング・横山 徹／写真・守谷之男／パソコン・照喜名 隆／青年部・中島史郎／レディースクラブ・柏 良子	
世田谷稲門会役員・20周年記念誌編集委員・寄付者・編集雑感	24

表紙 写真撮影

大内秀行(昭39・法)

祝 世田谷稲門会創立20周年

辯護士 安井規雄(昭47・法)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-8-13 虎ノ門上野ビル3階
安井・好川・渡辺法律事務所
TEL.03(3580)1811(代)
FAX.03(3580)1812
E-mail:nyasui@y9.dion.ne.jp

一級建築士・インテリアプランナー

INO UE AYA
井上 文(昭45・理工)

一級建築士事務所 環境企画G
〒156-0044 東京都世田谷区赤堤4-2-3-1A
Tel.03(5376)0320 Fax. 03(5376)0303
E-mail: aya-inoue@mui.p-navi.ne.jp

世田谷稲門会20周年を

迎えるにあたって

世田谷稲門会会長
岩上健一(昭36・法)



世田谷稲門会もお陰様で創立 20 周年を迎えました。今や会員 497 名、組織も大変充実し、ブロック会 7、部会 13 を数え、会員の活動もブロック会、部会を通して大変活発で、会員同士の交流もとても充実したものとなっています。嬉しい限りです。斯くも素晴らしい世田谷稲門会に発展し得たのも、先人の会員の皆様の並々ならぬ努力の積み重ねがあったことを忘れてはならないと思います。感謝申し上げる次第です。

20 周年を節目にファミリー会員制度、レディースクラブを立ち上げる事も決まり、会員制度のさらなる向上に繋げて行きます。また期待が膨らみます。会員数も 20 周年を期して最終 550 名を確保すべく会員増強活動を展開中です。会員の皆様には新会員入会促進に協力して頂きたく、宜しくお願い申し上げます。

早稲田大学も去る 2007 年 10 月に創立 125 周年を迎え「Waseda Next 125」へ「第二の建学」の道を歩み始めました。世田谷稲門会の発展が早稲田大学への応援に繋がる事を確信します。早稲田に学んだ縁で、知らぬ同士がこの稲門会で出会い、楽しく充実した時を過ごせることの幸せを噛みしめて欲しいと思います。

最後に、各人の自己責任で積極的に活動に参加し、楽しんでもらい、満足してもらえる事が会員増と世田谷稲門会の発展に繋がる事を確信します。万歳！ 世田谷稲門会。

世田谷稲門会創立20周年記念祝賀会、目黒雅叙園で200余名が一堂に



創立20周年記念祝賀会の会場は多くの来賓、出席者で埋め尽くされた

初心をもって新しいスタートを

平成 24 年 11 月 17 日の佳き日、20 周年記念祝賀会が目黒雅叙園を会場にして、華々しくとり行われた。早稲田大学地域コーディネーターの北野寧彦氏、塩浜裕夫東京 23 区支部長、2009 年から交流の始まった慶応大学の三宅茂樹世田谷三田会会長、横山誠二同事務局長、杉並区をはじめとする都内 15 区と東村山市、狛江市の稲門会会長および会員、準会員、知人など、計 208 人の参加を得た。

世田谷稲門会副会長の露木茂氏の総合司会による進行のもと、まずは、会長・岩上健一氏の「世田谷稲門会を、会員が満足し、エンジョイできる楽しい会に発展させていこう」との気迫のこもった挨拶から始まり、北野氏、塩浜氏、横山氏、また早稲田大学校友会代表幹事の福田秋秀氏から、20 周年記念の丁重なるご祝辞をいただいた。

乾杯の音頭は、写真家の浅井慎平氏にとっていただく。「(20 年という) 節目は次への初心、初心をもって新しいスタートをきろう」と全員、杯を空け、ビュッフェスタイルの宴が始まった。前世田谷稲門会会長の土倉亨一氏はこの 20 年の稲門会の歩みを回顧された。

平成 3 年 12 月に土倉氏の父君、故尚之氏ら 7 名の有志が発案、スタートさせた稲門会が 20 年後の今日、会員 497 名を擁する大隆盛をみることになり、すべて、諸先輩方の指導、温情によると、感慨ひとしおのご様子であった。



司会の露木茂氏



乾杯の音頭を取る浅井慎平氏

「お祝いオンステージ」も華やかに

宴たけなわ、「お祝いオンステージ」と題して、華やかなエンターテインメントが繰り上げられた。白石信と早稲田ナレオ OB バンドによる楽しい演奏が続いた。早大ハワイ民族研究会のフラガールは曲が変わるたびにコスチュームを替えてのダンスを披露してくれて、一気に会場の雰囲気をもりあげた。

司会の露木氏もウクレレを手に熱唱、浅井氏も情感豊かに 2 曲を歌い上げ、感動を呼んだ。フィナーレは、早大応援部と OG チアリーダーによる応援歌や校歌の斉唱、また、三田会の横山氏にエールの交換もいただき、晴れ



白石信と早稲田ナレオOBの演奏、早大ハワイ民族舞踊研究会のフラダンス。左端は露木茂氏



フィナーレは校歌斉唱

やかな祝賀会の幕を閉じた。

今回の祝賀会は、大幅に幹事が入れ替わったあとの初の大きな催しであったが、滞りなく大成功裏に終了し、改めて幹事の皆様方に感謝すると同時に、今後の稲門会の明るい歩みを予感された方も多かったのではないだろうか。

文・兼子信子 (昭43・教育)
写真・榎並俊一 (昭46・理工)

世田谷稲門会創立 20周年に寄せて



早稲田大学総長
鎌田 薫

世田谷稲門会の皆様方におかれましては、ご健勝にて益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。この度、貴稲門会が栄えある20周年を迎えられましたこと、心からお祝い申し上げます。永年にわたり、会員の皆様が一丸となって会の運営に尽力されてきたことに対し、敬意を表します。

本学は、学問の独立、学問の活用、模範国民の造就こそが、新しい時代を切り拓く要であるという理念の下で創設されました。東日本大震災の影響により国家の危機の只中にある今、この建学の理念をかみしめて、学生、教職員、校友が一体となり、新しい社会の建設に向けて総力を結集することが求められています。

「Waseda Next 125」計画に盛り込まれた基本的な方向性を踏襲しつつ、外部環境の変化を踏まえて、地球社会における知の具現を目指し、挑戦し続ける人材を送り出す新たなビジョンの策定に向け、準備を進めております。

グローバルな人材の創出と循環が繰り返され、ここから磨かれる研究が人類の叡智を拡充・組織化し、地球規模の課題の解決に貢献するとともに、異文化と共存した、持続可能な世界を構築していく大学をめざして参ります。

早稲田の杜に人が集まり、早稲田の杜で人が交わり、早稲田の杜から人が散じる。そして、いつでも早稲田の杜に戻ってくる。こうしたビジョンに立ち、世界へ貢献する大学であり続ける所存ですので、校友の皆様方には、これまでと同様、早稲田大学に対し熱いまなざしとご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆様方のご壮健と世田谷稲門会のますますのご発展を祈念いたします。

世田谷稲門会の さらなる発展を



早稲田大学校友会
代表幹事
福田秋秀

創立20周年をお迎えになりました世田谷稲門会の皆様、誠におめでとうございます。日頃より稲門会活動に勤しまれている会員の皆様のお喜びはいかほどかと拝察申し上げます。

さて、早稲田大学の卒業生校友は現在約58万人を数えます。そして校友会には現在1400にも迫ろうとする数の稲門会が登録されています。これらは、一朝一夕には叶わぬことです。

1885年に校友会発足の会合が開かれ、2010年には校友会設立125周年の節目を迎えました。先人の一方ならぬ努力と工夫が「いま」を形づくっているのです。「校友会代議員会」、校友による祭典「稲門祭」、「早稲田カード」の発行、「各種校友会給付奨学金制度」の発足、「母校の周年記念事業」や「WASEDA サポーターズ倶楽部」への協力体制構築等々、その当時の校友会役員のご知恵と情熱の成果であり、またなによりも賛同して下さった校友諸氏のご協力の成果であります。

時代が進めば進むほど、校友会への要請は高くなりますが、総意と創意をもって校友会を運営していきたいと思えます。「革新こそが伝統、支え続ける誇り」をモットーにして校友の人生を応援し、母校支援に邁進する校友会でありたいと思えます。

世田谷稲門会の皆様方にも、どうか引き続きご支援ご協力を賜れば幸甚に存じます。

皆様のご健勝と世田谷稲門会のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

集まり散じ 人替われども

校友会東京都 23 区支部長
港稲門会会長
塩浜裕夫



都内 23 区の第 3 ブロック（南西部）に 7 つの稲門会がある。その中で渋谷、世田谷の 2 稲門会は 20 年以上の歴史がある。他の 5 稲門会は設立からまだ 10 数年しか経っていない。渋谷、世田谷はいわば稲門会仲間の兄貴分である。

この度 20 年の記念式典にあたり、心からお祝い申し上げるとともに、今後とも後輩稲門会の良き手本となる発展を続けられるよう期待する。

私事だが、港稲門会幹事長として 23 区稲門会連合の運営に参画していた平成 12 年、23 区が初めて稲門祭で大隈庭園に出店することになった。参加の可否やどんな店を出すか、集客をどうするかなど、未経験者ばかりで議論百出だった。

それを上手にまとめ、円満に運営して成功させたのが、この年の連合会長を務めた土倉前会長だった。今では毎年恒例の行事となったが、土倉氏がその基礎を作られたことを私は忘れない。

稲門会・校友会の運営には多数の人が参画し、また人が入れ替わっていく。以前に担当された人々のご苦勞を思い、更に新しいセンスを付け加えて、活動が続けるべきである。それが稲門会を繁榮させ、校友会を強化し、結果として大学への支援を強力にする道につながる。

以上、私論を述べて世田谷稲門会 20 年のお祝いの言葉とします。

おめでとう 20 周年

世田谷三田会会長
三宅茂樹



世田谷稲門会創立 20 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

会員 450 名までに発展されましたのも、岩上健一会長をはじめとした世田谷稲門会の皆様の愛校心の賜物と拝察いたします。

世田谷稲門会と世田谷三田会の交流は 2009 年から始まり、今年で 4 年になります。世田谷稲門会・三田会懇親ゴルフも今年で 7 回を迎え、回を重ねるごとに盛大となり嬉しく思っております。

毎年、お招き頂く総会での岩上健一会長の熱きエールに学生時代の早慶戦の熱気が蘇って参ります。この 4 年間の交流を通して、学生時代以上に早慶は良きライバルであり、良き友であることを実感しております。

大隈重信先生と福沢諭吉先生との深い信頼から始まった早慶の交流を、この世田谷の地で更に深め、その教えを若い人達に伝えてゆければと存じます。今後ともより一層のご厚誼をお願い申し上げますとともに、世田谷稲門会のますますのご発展をお祈り申し上げます。



創業63年 圧力計・温度計製造 計測機器輸入販売

ASHCROFT® HEISE® 日本総代理店
TOKYO OKS 株式会社 岡田計器製作所

〒156-0045 東京都世田谷区桜上水3-11-5 TEL.03 (3303) 2268 (代) FAX.03 (3304) 8036
<http://www.okadakeiki.co.jp>

昭和43年 電気通信科卒 國澤俊一

思い出

役員 OB 代表

前原祖彦 (昭 25・理工)



私は早稲田学報で世田谷稲門会を知り、平成 6 年に入会しました。その後、毎年総会や行事に参加してきました。発足以来、役員・幹事の方には会の発展のために努力されてきましたが、未だ創成期とあって事務方の体制が必ずしも十分でなく、苦勞されたと思います。

平成 9 年 5 月、駒沢の三越シルバーハウスで定時総会が催され、席上、財政難のため年会費を 5 千円に値上げする案が上程されました。ところが、その時発行された名簿には校友の協賛広告があり、かつ千円で販売しました。にもかかわらず財政が不足する訳は会費未納者が 120 名くらいいたからです。そこで提案は否決されました。その時の会員数は約 300 名で、その中で平成 21 年に在籍されている方は 83 名でした。

私はその後幹事となり、平成 12 年に幹事長に就きました。同じく寺澤さんが事務局長となられ、会費未納者への回収に大変尽力され、お陰で財政は好転しました。さらに川村さんに会計担当をお願いしました。

平成 12 年、許勢さんの提案で、納涼会として東京湾ディナークルージングを催すこととなり、許勢さん、寺澤さん、私の 3 人で船会社の社長に会って企画し、130 名の参加となりました。ところが当日、船のエンジントラブルで出航できないと言われ、困ってしまいました。とりあえず船上でディナーを食べられる方、そのまま帰られる方といろいろで、返金などの後処理で苦勞しました。その後、平成 14 年、16 年と同じ企画で実施しました。

平成 15 年、世田谷は広範囲なので、会員の住所によるブロック制を実施するべく、武藤、柴田、岩上各氏と案を作り、現在の状況となりました。

会報は大須賀、寺島両氏により新たにカラー印刷となり、内容も充実しました。また、東京 23 区稲門連合会が設立され、第 6 代会長に土倉さんが就任されました。その後、23 区支部となり、平成 15 年、鈴木さんが幹事長となり、各区との協力、調整に当たられ、各々活躍され、現在の東京 23 区が確立されました。土倉さんは平成 8 年から平成 20 年の長きにわたり、個性のある役員・幹事をよくまとめてこられました。そしてここにお名前を挙げられなかった多くの方々にご協力をいただき、今日の立派な基盤が作られました。

所詮「集まり散じて人は替われど」同じ心の早稲田人です。

ゴルフ会員権の売買・仲介なら

24 年の実績と豊富な情報を誇る弊社へ安心してお任せ下さい。

関東ゴルフ会員権取引業協同組合員

(株)グリーンインターナショナル

代表取締役 齊藤 毅 昭和 40 年 第一商学部卒



東京都千代田区平河町 1-7-22

電話 03-3237-8800 FAX 03-3237-8778

E-mail greenint@dream.com

世田谷稲門会 20年のあゆみ

- 平成3年12月 第1回発起人会 有志7名が大隈庭園 完之荘で初会合
- 平成4年1月 第2回発起人会 初代会長に土倉尚之氏(昭8・政経)が就任
- 同年4月 会則制定
- 同年6月 土倉初代会長死去に伴い寺田勉氏(昭12・文)が第2代会長に就任
- 同年11月 第1回総会 36名が出席
- 同年12月 寺田氏退任に伴い第3代会長に黒澤嘉幸氏(昭17・商)が就任
- 平成5年9月 ゴルフ部会発足、その後各種部会が続々誕生
- 平成6年5月 世田谷稲門会会報発行(1～3号)
- 平成8年6月 第5回総会(大隈ガーデンハウス:74名参加)奥島孝康総長が講演
- 同年10月 黒澤氏退任に伴い土倉享一氏(昭34・政経)が第4代会長に就任
- 平成11年11月30日現在 会員数429名
- 同年以降 会報を年3回～4回程度 定期的に発行する体制に
- 平成12年4月 23区稲門会連合会長に土倉会長が就任
- 同年5月 第9回総会で会則改定
- 同年10月 ホームカミングデーに大隈庭園を会場にして「東京23区稲門会連合会の集い」を初めて開催(以後定例化)
- 平成13年5月 第10回総会で早大125周年記念事業に寄付開始を決める
- 平成14年1月 世田谷稲門会創立10周年を迎える・公式ホームページを開設
- 平成15年7月 地域ブロック会を発足
- 平成16年 12月発行の会報27号からカラー化
- 同年5月 第13回総会を機に7ブロック会発足(西北、千歳、けやき、キャロット、きぬた、玉川、さくら)
- 平成18年 早大125周年記念事業寄付、総額125万円の目標達成
- 平成19年1月 新春懇親会開催(こまばエミナース:112名参加) 直木賞作家 長部日出男氏講演
- 同年5月 第16回定時総会開催(こまばエミナース:100名参加) 早稲田大学教授 重村智計氏講演
- 同年9月 納涼会開催(代々木倶楽部:78名参加)
- 同年5月 世田谷稲門会創立15年記念誌を発行
- 平成20年1月 新春懇親会開催(こまばエミナース:127名参加)
- 同年5月 第17回総会で土倉享一氏が退任、岩上健一氏(昭36・法)が第5代会長に就任
- 同年9月 納涼会開催(隅田川屋形船:60名参加)
- 平成21年1月 新春懇親会開催(こまばエミナース:130名参加) 125周年記念事業追加寄付 累計145万円に
- 同年5月 第18回定時総会開催(こまばエミナース:106名参加) 大学から記念事業寄付に対しゴールドフラッグ受賞
- 同年8月 納涼会開催(世田谷たまがわ花火大会見物:53名参加)
- 同年9月 世田谷稲門会公式ホームページをリニューアル
- 平成22年1月 新春懇親会開催(こまばエミナース:140名参加) 野球評論家 荒川博氏講演
- 同年5月 第19回定時総会開催(ホテルグランドパレス:82名) 元フジテレビアナウンサー 露木茂氏講演
- 同年9月 納涼会開催(東京ベイサンセットクルーズ:92名参加)
- 平成23年1月 新春懇親会開催(ホテルグランドパレス:117名参加) 民主党最高顧問 渡部恒三氏講演
- 同年5月 第20回定時総会開催(ホテルグランドパレス:87名参加) 日本サッカー協会キャプテン 川淵三郎氏講演
- 同年11月 納涼会開催(キャロットタワー:81名参加)
- 平成24年1月 新春懇親会開催(目黒雅叙園:124名参加) 小沢昭一氏講演(露木茂氏との対談)
- 同年6月 第21回定時総会開催(目黒雅叙園:95名参加) 写真家 浅井慎平氏講演(露木茂氏との対談)
- 同年11月 創立20周年記念祝賀会開催(目黒雅叙園:208名参加)

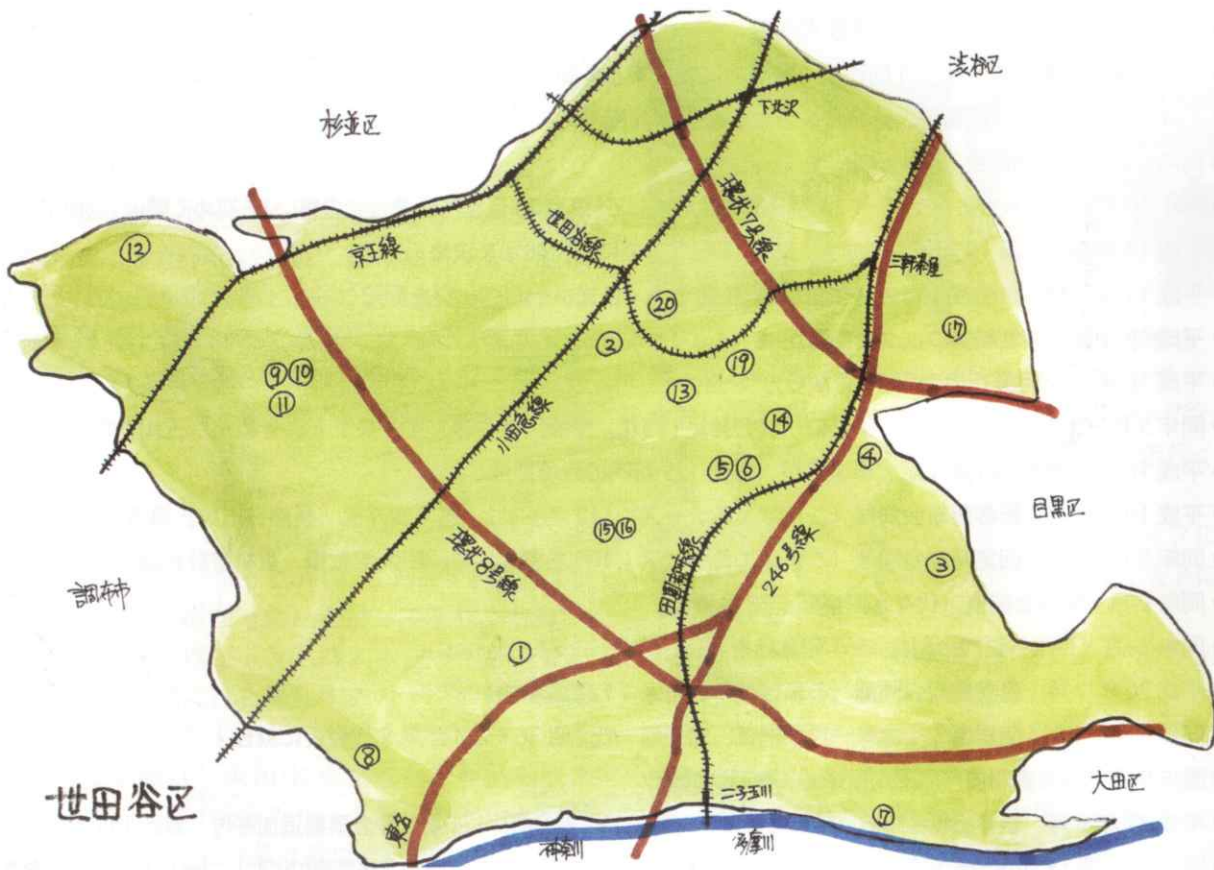
世田谷散歩で思いがけない景色に出会う

写真部会は今年 10 年目になります。今回 20 周年記念誌の発刊にあたり、世田谷にある施設や行事に関係ある作品を掲載させていただきました。ご鑑賞下さい。

また、撮影場所を地図で示しましたので、機会がありましたら散策にでもお出かけ下さい。身近な場所で思いがけない景色に遭遇します。

*写真部会はカメラ、撮影ジャンルに区別なく、作品のレベル向上をめざして集い、楽しく過ごしています。何かと写真を撮る機会が増えていますので、少しでも良い写真をとご希望の方々の入会をお待ちします。

写真部会代表世話人 種谷鴻成(昭31・理工)



地図作成・榎並俊一(昭46・理工)



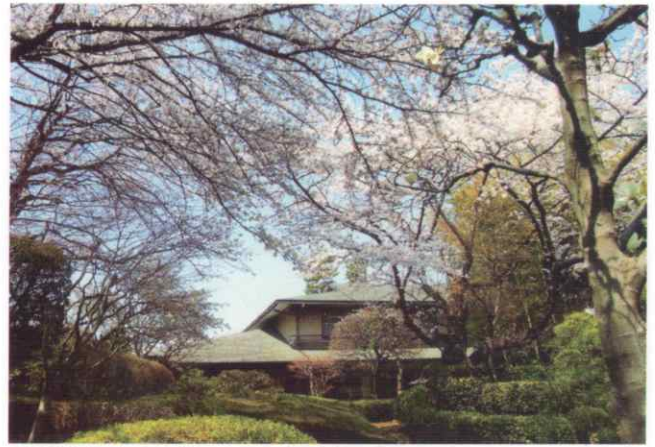
①砧公園 石橋暉彦(昭37・理工)



②世田谷八幡社御輿 石橋暉彦(昭37・理工)



③呑川遊歩道 上田忠雄(昭26・理工)



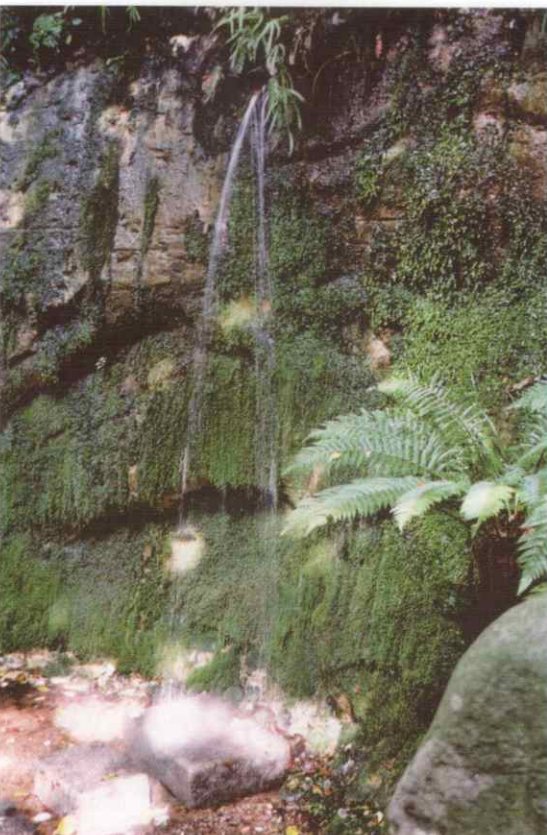
④駒澤大学迎賓館 上田忠雄(昭26・理工)



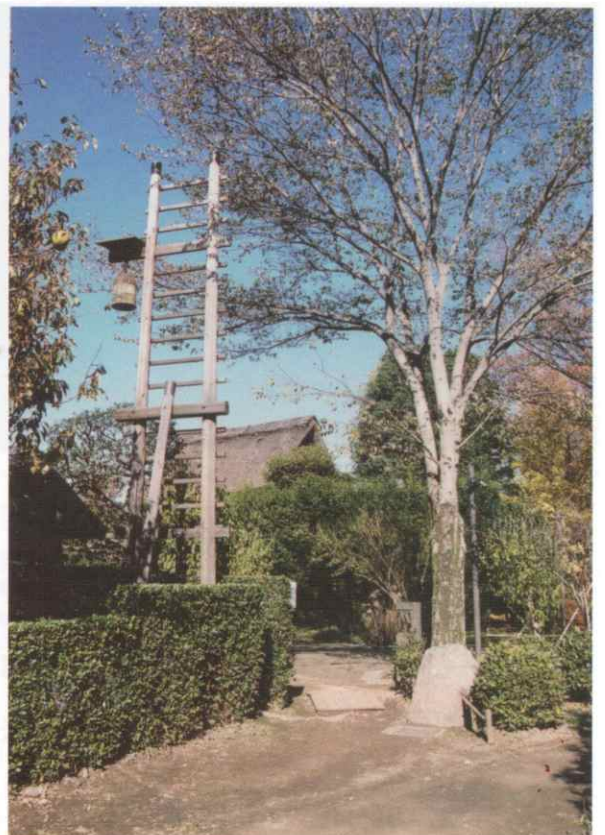
⑤桜新町 浮田靖彦(昭34・法)



⑥桜新町(ねぶた) 浮田靖彦(昭34・法)



⑦等々力溪谷 川村保夫(昭34・商)



⑧次太夫堀公園 川村保夫(昭34・商)



⑨蘆花恒春園 鈴木宏治(昭38・商)



⑩蘆花公園(花の丘) 倉田 豊(昭43・商)



⑪蘆花公園と千歳清掃工場煙突 倉田 豊(昭43・商)



⑫北烏山寺町 妙壽寺 鈴木宏治(昭38・商)



⑬ボロ市 関根昌一(昭23・法)



⑭弦巻 世田谷児童公園 関根昌一(昭23・法)

しっかり噛んで、健康なからだに！

キヌタ歯科クリニック

— KINUTA DENTAL CLINIC —

院長 **立山永大** (S52年 政経卒、東京医科歯科大卒)

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-37-5 砧 TERU ビル 3F

TEL 03-3415-9571 FAX 03-3415-6889

〈診療科目〉

審美歯科・インプラント

ホワイトニング



⑮馬事公苑 種谷鴻成(昭31・理工)



⑯馬事公苑 種谷鴻成(昭31・理工)



⑰世田谷観音 守谷之男(昭29・理工)



⑱吉祥寺 (世田谷区提携村・群馬県川場村)守谷之男
(昭29・理工)



⑲世田谷線 若林昭男(昭31・理工)



⑳豪徳寺三重塔 若林昭男(昭31・理工)

キャロット会

三軒茶屋界限雑感

加藤隆夫(昭34・法)

国道 246 号線三軒茶屋の交差点に佇むと、首都高速 3 号線の高架橋が大きく覆いかぶさり、複雑な三叉路ゆえに横断歩道の信号待ちには苛立ち、歩行者には潤いがない。交差点三角地帯に目を転じれば、平屋の店舗が軒を連ね、一時代前の街並みである。

私はこの三軒茶屋に所在する区立中里小学校（入学時は国民学校）の卒業生である。当時 246 という洒落た名前などない道路には無論、首都高なぞなく、渋谷からの路面を玉電が走り、この交差点で右手に分かれるのが下高井戸行き（東急世田谷線として現存）、左手に進行するのが二子玉川園行き（当初溝の口行きであったが戦時中大井町線を二子玉川から延長して切り替えた）であった。

三軒茶屋界限は、明治時代の玉電の開通によることが大であるが、近辺に軍事施設が次々つくられ、陸軍御用の業者・店舗もあって発展してきた。この商店街の通りは真ん中を電車が走り、左右やっと一車線ずつくらの幅しかなかった。ところが戦火に備えて、人手により縄で引っ張って強引に家屋を壊すというやり方で道路拡張したのである。

1944 年、東京も空襲を受けるようになり、私は小学 3 年の時、親元から離れ、長野県松本市郊外へ学校単位で集団疎開した。1945 年 5 月には、同県上伊那郡の 7 つの村に分かれて再疎開することになり、その村の学校の中に混じり村の子と一緒に勉強した。

終戦は宿としていた山奥のお寺で迎えた。その間、三軒茶屋付近は 1945 年 5 月 24、25 日の爆撃の被害で、母校の小学校の校舎も半分焼失した。

同年終戦。付近の旧軍事施設は戦災被災者の共同住宅となり、一方、疎開先からの帰京者とも合わせて界限の人口は急増、母校の児童数は 2000 人にもものぼり、校舎が足らず午前と午後に分けた 2 部授業が行われた。それが今（2011 年 9 月現在）6 学級 179 名である。近隣に新しい小学校が新設され、見



1955年撮影の玉電(現在の桜新町付近)。玉川通りの道は狭く、電車の軌道は北側に寄っている

童が分散されたこともあるが、この街の背景にある小学校の児童数が 200 人にも満たないなんて将来的にさびしい気がする。

三茶の商店街も戦後、パチンコ店を筆頭に大いに発展してきた。玉川通りは 1964 年のオリンピックに際し、さらに道路拡張され、1969 年、玉電は下高井戸線を残して廃線となった。1972 年には通りの上に首都高が完成、1977 年には地下を新玉川線（現在の名称：田園都市線）が走るようになり、キャロットタワーが建ち、今日の姿となった。

さて、三軒茶屋交差点付近の商店街の街並みであるが、近代化への再開発は諸事情あって現在のところ絶望的と聞いている。しかし、戦後の趣を残す裏通りの飲屋横町は何とも言えないという方々も多くいる。皆さん如何であろうか。

西北会

世田谷と私、そして稲門会

上保幸夫(昭29・教育)



私の家は先祖代々世田谷暮らしで、祖父の代まで農業をやっていました。松原は、井の頭線が開通して開けるのが早かったようですが、それでも、私の子供の頃は、田圃こそありませんでしたが、畑はたくさんありました。赤堤の畑の脇を流れる小川で、泥鰌やクチボソをとったり、赤トンボやヤンマを、もち竿を持って追いかけたりして、毎日真っ黒になって遊びました。

家は茅葺で、宅地の四隅に樺の大木があり、遠くからでもよく見えました。床が高く、縁の下に私が大嫌いな蛇の抜け殻があつたりしました。樺の大木は、戦争中、空襲がはげしくなり、B29（爆撃機）の目標になると言われ、伐木してしまいました。遠くから見える我が家の目標が無くなり、とても淋しい思いをしたことを覚えております。樺を切っても、家は空襲で焼けてしまいました。

小学校には、クラスにも、同学年にも、上保（うわば）の姓の人が大勢おり、近所にも、親戚や親戚以外でも上保姓の家はたくさんあります。上保という姓が変わった読みにくい姓とは全く意識していなかったのですが、中学 2 年の時、物理の若い教師（中込先生）が、出席をとるので、一人ひとり名前を読み上げました。私のところではつかえてしまい「かみやす、じょうほ」等三つ四つの名前を読み上げました。自分が呼ばれているのは十分知りながら、生意

気盛りだったので、ちゃんと呼ぶまで返事をしませんでした。顔を真っ赤にした先生は「あげっぼ居るか、返事をしろ」とどなりましたので、観念して「うわぼです」と返事をしました。それ以来、皆に「あげっぼ」とあだ名されるようになってしまいました。先生は、真っ赤になってよく怒るので「タコ」というあだ名がついていました。後日談ですが、会社に高校のOB会が出来、東芝の東と西高の西をとり「東西会」と名付けました。会員は30名程。2~3回目の東西会の折、新入社員の紹介があり「この度入社いたしました中込です」と自己紹介をした新人がおりました。彼が挨拶したとたん「お前、タコの息子か」という声が一斉にあがりました。

私も傘寿を過ぎ、親しかった沢山の友人が「黄泉の国」に旅立ってしまい、寂しい思いをしています。世田谷稲門会は大いなる楽しみです。西北会・麻雀・食べ歩き・芸術芸能鑑賞の各部会などで皆様とご一緒するの生きがいしております。有難う。

玉川会

通学・通勤経路に見る時の流れ
小口浩一(昭45・法)



私は、生まれて本籍があるのが長野県である。物心ついたのが神奈川県で、小学校3年の夏に九州に移り、その後各地を転々とし、中学校3年の10月に東京世田谷の等々力に移ってきた。以来、高校を卒業するまで同地にいた。そして1年ほど目黒区にいたが、昭和40年、早稲田に入学する直前に桜新町に移り、昭和51年に結婚し神奈川県に移るまでそこで過ごした。

地方勤務から東京に戻ってからは目黒区にいたが、平成15年初めに玉川台に来て以来世田谷暮らしである。通算20数年ほどの世田谷区民である。

等々力にいた高校時代は、大井町線の等々力から自由が丘で東横線に乗り換え、渋谷に出ていた。桜新町時代、早稲田には玉川電車で渋谷に出て、山手

線で高田馬場まで、そして歩いて大学まで通っていた。就職してからは職場が虎ノ門だったので、渋谷から銀座線を通った。この間、大井町線が田園都市線と名称を変えたのち、溝の口から先に伸びた。

さらに、首都高速3号線が渋谷から用賀まで延長、その高架工事のため玉川電車が廃止となり、その後、渋谷-二子玉川間に新玉川線の工事が始まり、昭和52年4月に開通した。新玉川線の工事の際、首都高速3号線の延長工事の時に地下の工事が済んでいた、という噂があったが、真偽は不明である。

しばらくして、新玉川線は渋谷から二子玉川經由中央林間方面を通じて田園都市線ということになり、大井町-二子玉川間は大井町線の名称に戻った。そして、二子玉川-溝の口間が複々線化され、(新)大井町線は大井町-溝の口間を走ることとなった。

まさにこのような交通網の変化こそ時代を映す鏡と言えよう。

きぬた会

世田谷育ちのグルグル、稲門会
宮木 甫(昭30・文)



世田谷稲門会の楽しみは、テレビのCMではないけれど、世田谷育ちのグルグル…(めぐりあいの輪)です。早稲田と世田谷の繋がりの中から、年代や地区を越えて思いがけないご縁ができる喜びです。

私が一番嬉しかったのは、加藤禮子先輩にお会いできたことです。往年、稲田悦子と並ぶ国民的アイドルの美少女スケーターで、ジャズ歌手としても有名な我が町(松原)のヒロインです。食べ歩き部会も麻雀部会もご一緒できるなんて大感激!

松原といえば、戦火で全焼したことのある松原小学校の先輩上保幸夫さんにお目にかかるると昔話は尽きません。河村卓郎さんが加わると同窓会のグルグルです。

中・高校のご縁は岩上健一会長とです。「去年、早稲田に5人受かったけど、今年は4人だったね」な

アンサンブル of トウキョウ

2013年定期演奏会 紀尾井ホール 19時開演 (全4回とも)
年会費<4回> 10,000円(学生6,000円) ※1回券、同伴券あり

第106回 4月25日(木)「バッハ親子とシューベルト」

五重奏曲ニ長調(J.C.バッハ) 弦楽五重奏曲ハ長調(シューベルト) オーボエ、ヴィオラと通奏低音のためのソナタニ長調 BWV1028(J.S.バッハ)

第107回 7月9日(火)「J.S.バッハ協奏曲の夕べ」 ゲスト: 神田寛明(FI)

管弦楽組曲第二番 BWV1067 チェンバロ協奏曲短調 BWV1056 オーボエ・ダ・モーレ協奏曲イ長調 BWV1055 ヴァイオリン協奏曲ニ長調 BWV1042 三重協奏曲ニ長調 BWV1064

第108回 9月17日(火)「室内楽の夕べ」

ヴィオラとコントラバスのための組曲(グリエール) オーボエ四重奏曲第1番(クロンマー) 弦楽五重奏曲(ブルックナー)

第109回 12月12日(木)「オーケストラの夕べ」 ゲスト: 尹慧利(FI)

シンフォニア第1番ニ長調(C.P.E.バッハ) フルート協奏曲第1番(モーツァルト) 交響曲第4番(ベートーベン)

出演: 金昌国(指揮, FI) 小林美恵 大林修子 玉井葉探 蒲生克郷 吉原葉子 佐原敦子 山田麻実 吉村知子(Vn)

大野かおる 川中子紀子 岡さおり(Va) 河野文昭 羽川真介(Vc) 永島義男(Cb) 梅村裕子 菊池百合子(Pf, Cemb) 青山聖樹(OB) ほか

《お問い合わせ》事務局 (金 美智子) Tel:03-3426-2010 Fax:03-3426-2197 ensembleoftokyo@gmail.com

んて冴えない話も出ますが、母校の日本学園の校舎は、理工学部が生んだ世界的建築家の今井健次博士の設計です。同じく成城カトリック教会と共に、世田谷区の有形文化財となっています。ご一見を！

ブロック会立ち上げの時、きぬた会では故・寺澤隆男先輩がとてご尽力下さいました。「会名は砧をひっくり返してタヌキ会ではどうだ」と本気でおっしゃいます。どうせ、皆、世田谷育ちのタヌキじゃないかと喝破されました。今ではそれもアリだったかなと思っています（数年前まで、本物のタヌキが祖師谷の旧拙宅に来ていました）。

きぬた会一の親父タヌキは故・江口力（ボウリングと麻雀の名人）先輩です。世田谷文学館で、池波正太郎展の見学会を学芸員の講話と解説付きで催した時、昼食会に江口ともみさんを密かに呼んでおられました。ご夫人参加が多かったこの催しは、ビフォー・アフターの話などですっかり盛り上がりました。「池波正太郎より俺の娘の方が人気だろう！」とほくそ笑んでいた親父タヌキの顔が忘れられません。

今、私は神奈川県足柄地方に住み、世田谷から一番遠い会員です。去年、ウォーキングにこの地のアジサイ祭とビール工場をご案内させていただきましたが、ここまでグルグルを広げて下さったウォーキング部会の方々に深く感謝いたします。

以上はわたしにとってのほんの一端ではありますが、会員諸兄諸姉は遙かに多くのグルグルの輪に関わっておいででしょう。早稲田 130 年、世田谷区 80 年、世田谷稲門会 20 年の今、それぞれのグルグルが集まり散じながら無限に広がり、一つの大きな輪になって、心のふるさと世田谷稲門会がますます発展されるよう願っています。

けやき会

ケヤキの名に惹かれて

井上 文(昭45・理工)

11 月の世田谷は 1 年のなかで一番美しい季節ではないだろうか？ あちこちに残るケヤキの大木の、暮れなずむ秋の夕映えのなかに立つシルエットは、堂々としていながら繊細で、いつまでも見飽きることがない。時折の疾風に散る落ち葉も、ことのほか風情がある。

世田谷稲門会のブロック会「けやき会」の存在を知ったのは、3 年ほど前になる。大好きな樹木の名前に惹かれて、入会させていただいた。

早稲田大学は母校でありながら、遙かに遠い存在として、正直あまり帰属意識はないが、人生の大半 50 年にわたって住み続けているここ、世田谷はやは

り自分にとって何よりの居場所である。この地で子育てをし、両親を看取り、有難いことに仕事もまた、地域でさせていただいている。お世話になった世田谷で微力でも何かお役にたつことができれば、との思いがある。もとより今では、世田谷に移り住んだ 60 年前とは大きく様変わりしていて、子どもの頃、野原を駆け巡って遊んだ牧歌的な風景は失われてしまったが、その移り変わりの節々を今でも懐かしく思い出すことができる。

そして、歳を重ねるごとに地域の価値は重みを増し、身近な人同士のつながりが大切に思えてくる。

お付き合いのきっかけは些細なことであっても、何かしら共有できることがあり、それを媒介にして、親しくさせていただける仲間ができるとしたらこれは何よりの幸せではないか？

そして「けやき会」は、まさにそんなきっかけを生み出している会として、その名に恥じない意味を持っているように思う。



赤堤、西福寺のけやき

さくら会

「東京の軽井沢」辺り

能 俊彦(昭30・法)



最近見た「桜新町の丘」と銘打った不動産会社のチラシによると、この辺りは区割りが出来た 80 年以前は「東京の軽井沢」と称された高台で、標高が用賀や三軒茶屋よりも 10~20 メートルほど高いそうである。今まで気にも留めなかったが、拙宅の屋上からは新宿のビル群、用賀のビジネスセンター、三茶のキャロットタワーが見渡せる。この時代、駒沢に騎兵旅団等があり、軍人・官吏の住宅が軒を連ねていたとのこと、従卒に手綱を取らせた将官が馬上豊かに闊歩する姿が見られたとも言う。

私が所属するここ「さくら会」の地域は区のほぼ中央で、世田谷・弦巻・用賀・上町・深沢がそのエリアである。私鉄沿線文化と称せられる世田谷区にあって、区内を縦断するのは世田谷線のみで他はすべてバス頼り。地下鉄化の最も遅れた東急沿線では、地下鉄工事の時は既存の世田谷通りを全面的に掘削する大工事、広い国道の下を掘削した用賀・駒沢・

三軒茶屋の各駅は問題なかったが、国道のバイパスの下を掘った桜新町駅付近では、幅員の関係で上下2層にならざるをえず、車両が駅に近づくと大きな揺れを感じる。これを地上で見ると、逆に、3駅付近では広い国道が町の発展を阻害し、比較的狭いバイパス上の桜新町では後背地にマンションの新築もあり、商店街も交代はあるものの血が通い合ったゲームインデックス的發展を遂げることが出来たように思う。今年、駅出入口口にサザエさんの像が設けられ、カメラを持った家族連れのシャッター音が絶えない。

この間の事情に関連して、保坂区長は「三茶・シモキタより規模は小さいが、都会にはないまったりとした雰囲気」とコメントしているが、はたして皆さんはどうお感じになるだろうか。

千歳会

千歳わが故郷に想う 倉田 豊(昭43・商)



上は始発の引込み線のある千歳烏山駅下りホームで父が撮った写真。私は昭和19年松原で生まれたが、東京大空襲が迫り千歳烏山駅南方の分譲地に移ることにし、祖父が建てた三世同居の家で育った。この地域に係わる人と時代に記憶を重ねてみた。

■烏山小は現在の烏山駅北側の区民センターの場所。入学時には防空サイレンの鉄塔、窓に飛散防止のバテン。級友は江戸時代豪農的的屋・幕府係累・共産党細胞・俳優・文化人・医者・商店・勤め人の子。朝鮮戦争の勃発で旧甲州街道には昼間からライトを点けた米軍トラックの列が通り、駅周辺旧甲州街道沿いには茅葺屋根もあり商店街は砂利道だった。ガス上下水道のインフラは遅く井戸水を汲み上げ薪石炭の風呂釜と石油コンロ、食糧難で庭を畑に耕した。人家も疎らで多摩川の花火が見えた。仙川には馬場さんの山(後第一生命保険「相樂園」)、給田の水田地帯(昭和38年埋立て)は成城にまで続いていた。

■上北沢の「松沢教会」賀川豊彦の「松沢幼稚園」に日曜学校があり、クリスマスに賀川の孫と聖劇をしたり戦災孤児らと三井牧場(現桜上水団地)に行った。大人の礼拝に紛れ込み賀川豊彦の説教を聴くと、模造紙に毛筆で文字や図を描き、張りのある声が響いた。

■徳富蘆花は明治39年4月トルストイ訪問。平和主義・田園詩人の感化を受けて明治40年千歳村粕谷に移り「みみずのたはこと」を書いた。既に霊南坂教会の開拓伝道活動で農家5軒はクリスチャン、篠田兼五郎が移住の世話をした。京王線が大正2年

に開通。大正8年巢鴨の精神病院が八幡山に「松沢病院」新築。

■賀川豊彦は大正9年「死線を越えて」が大ベストセラーになり、神戸で蘇峰・蘆花らと親しく交流。大正12年9月1日関東大震災翌日には本所に TENT を張り救援活動を開始。大正13年4月に蘆花を介して松沢村助役三井常太郎の懇請で上北沢に移住。徒歩2キロの蘆花(昭和2年没)と晩年も交流した。

■大宅壯一は茨木中学のとき神戸のスラム街に賀川を訪ね賀川から洗礼を受け、21歳の阿倍野教会の結婚式に賀川も出席。賀川が活動拠点を上北沢に移すと徒歩15分の八幡山に住み戦中戦後も農耕生活を続けた。大宅映子(三女)は松沢幼稚園に通い、昭和45年大宅壯一の満70歳没の葬儀には松沢教会の聖歌隊が出たとのこと。

■平塚らいてう“原始女性は太陽だった”「青鞥」につき、千歳中からの親友<奥村直史著「平塚らいてう・孫が語る素顔」平凡社新書>によると『大正14年千歳烏山へ転居。(筆者注:南烏山4丁目“和田住宅”現存せず)2人の子供は牛込から分離した成城学園に1時間歩いて通うことも。夫博史は美術の教員となる。昭和2年小田急線が開通したので成城に転居。昭和46年85歳没。』孫の直史君の結婚式でのご様子は小柄で神々しい印象。『日本女子大卒業20歳で見性を許され80歳過ぎても座禅を続け「青鞥」を一種の精神(宗教)運動と振り返っている。』奇しくも蘆花・賀川・大宅の系譜とは“近くて遠い存在”だったのであろうか。

■千歳中ブラスバンド部。1年の秋(昭和32年)学校の指名で管楽器十数本で結成。私はトロンボーン、大太鼓は木本琢磨でPTA会長の母親の尽力で北沢中につぐ2番目の創部。彼は50歳で逝去し実姉の広中和歌子(元環境庁長官)が会葬者に頭を下げた。後輩には塩崎恭久(元安倍内閣官房長官)、坂本龍一(作曲家YMO)も在籍。創部仲間の佐藤方紀(井口愛子次男)成城宅に頻繁に行く。

■千歳中北側の道は江戸時代の「青山道・滝坂道」に由来し東の渋谷道玄坂付近から西は仙川滝坂で旧甲州街道と合流。その手前の桐朋学園は斉藤秀雄・井口基成ら昭和23年の東京家政学院「子供のための音楽教室」から発展、小澤征爾、堤剛など世界で活躍する多くの指揮者、演奏家を輩出。サイトウキネンオーケストラは内外で有名。短大生の小澤征爾が日本青年館で在校生オーケストラを指揮するのを見に行ったり、前出の佐藤宅での野島稔や全国の天才ピアニストとの出会いが懐かしい。今、この地域で世界に通用する“現代の看板拠点”は創立60周年の「桐朋学園音楽部門」ではないかと思う。

ゴルフ

世田谷稲門会とゴルフ

平井恒夫(昭29・政経)



1993(平成5)年9月、習志野CC 空港コースで世田谷稲門会ゴルフ部会が誕生した。参加人数6人。優勝されたのは世田谷稲門会で伝説的と言っては失礼だが、昭和6年卒業の内藤隆福大先輩。昭和6年は私の生まれた年である。その後も奥様ともども百歳近くまで元気にプレーを楽しんでおいでになった。第2回目にあたる1994年3月、芙蓉CCから私も参加するようになった。ゴルフ部会として正式になったのは、私の同期(昭和29年卒)北内健一君から誘われて世田谷稲門会に入会、同じく同期の寺澤隆夫君と3人で世話役を勤めることになってからだと思う。

まずは部会員の勧誘、稲門会からは勿論、世田谷稲門会の入会資格は寛容で「世田谷区外でも会の目的に賛同する者は入会可能」という素晴らしい規約に便乗して、世話役3人の同期の区外から数人を引っ張り込んだ。96年からコンペを年4回に増やし、会員数は100名に達した。例会コンペの参加者も40人から50人に増えた。世話役も3人では無理となり現代表の森昌治さん、現幹事長の井澤貞夫さんに加わってもらって、スムーズに運営することが出来るようになった。

ゴルフ部会の目標は参加者に目一杯ゴルフを楽しんでもらうことにあった。その為にはと、みんなで知恵を絞って、開催コースの選定、リーズナブルなプレー費用、スムーズに進行するための競技ルール、独自のハンディキャップ制度などをいろいろ考えて、極力参加しやすく、気軽にゴルフを楽しんでいただけるように工夫した。

島田實さんが経営されていた砦のゴルフ練習場を活用させて頂いて、稲門会ゴルフ教室を開催したこともあった。女性会員の参加も積極的に働きかけて、

明るい雰囲気添えて頂いた。年を経るに従って最近では、シニア、グランドシニア、レディスと総合を含めて、4部門の優勝者が生まれている。

世田谷稲門会誕生20年を迎えることは素晴らしいことであり、会員の一人として本当に嬉しいことである。他地区の稲門会とくらべても組織も内容も素晴らしいと思う。しかし初期の数回は組織作り、運営方法、会費の徴収、活動内容の充実など、本部の方は大変なご努力とご苦勞をされて基盤作りをされておられた。前会長土倉さん、幹事長前原先輩、事務局長の寺澤君、当時の世話役、幹事の方々のご功績には感謝の気持ちでいっぱいである。その方々のご苦勞の傘の下でゴルフ部会は呑気に部活動を続けていくことが出来たと思っている。

一方、私が所属する玉川ブロック会のゴルフ会は早朝、等々力駅前に集合して、バスで千葉方面のコースへ向かう。これまた楽しい。行きも帰りも賑やかである。雨が降るとバスは美味しい魚とアウトレットに行先が変更される。これも優秀な世話役の素晴らしい計らいである。自分のゴルフは80歳を過ぎて下手になる一方であるが、稲門会、玉川会の仲間とこれからも出来る限り楽しみたい。

俳句

俳句との出会い

草谷好孝(昭29・商)



駒沢公園の近くの深沢に住んでから約40年になる。10年前、商29会に出席した折、同級生の寺澤、柴田、佐藤諸兄に世田谷稲門会への入会をすすめられ、特に佐藤さんはゼミも同じクラスであり、彼に宮坂での健康体操へ参加をすすめ、小生は稲門会に入会し、今日に至っている。

8年前に渋谷のエクセル東急で、稲門会主催のシャンソン歌手黒川泰子さんのパーティに出席したところ、同じテーブルで高橋悦男先生ご夫妻と会い、

不動産の鑑定評価 有効活用コンサルティング

皆さまの様々な課題を解決するために、弁護士、司法書士、税理士、一級建築士等の専門家、不動産業者と協力して、総合的なサービスを提供しております。

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5-29-7
 電話：03-5430-4871
 メール：akira-iguchi@iguchi-kantei.co.jp
 ホームページ：www.iguchi-kantei.co.jp

有限会社 井口不動産鑑定
 不動産鑑定士 井口 昭

出身が下田と蒲原で同じ静岡県人であり、親しく懇談の時を過ごした。

その後、さくら会の矢田、江原両氏より、句会への誘いがあり、ズブの素人ながら長谷川町子美術館の隣、桜新町の集会所で「海」主宰の高橋先生指導で、遠藤、栗山、高橋、山元、柴田、林、暮田、矢田、江原、草谷と男ばかりの句会がスタートした。

会員の顔ぶれは、入退会で変わったが、第63回まで約5年間余、毎月の句会は兼題句を含め3句を提出、会員は全体句より5句を選び、得点の合計と最後に先生に特選3句と普通選10句入選句の総評と感想を聞いて、悲喜交々の句会を継続したが、四季の移り変わりを感じ、花の名を覚えることが出来たように思う。

高橋先生が多忙のため、句会発足6年目より句会出席が困難になり、後任の指導者の推薦をお願いしていたところ、NHKテレビ俳句で新進気鋭の俳人とされた日下野由季さん(平成14・文)をご紹介いただき、第64回(平成23年6月)より、毎月第3水曜日、午後1時半より句会は再開された。

現在、江原代表幹事、暮田、田中、松尾、冨塚、佐藤、女性会員の北岡、沼田さん、能、草谷のメンバーで、年2回くらいは会場を桜新町の蕎麦屋「権八」に移し、開催している。句会発足から今日まで、高橋、日下野両先生より、次の句を特選句として評価いただいた。

半世紀連れ添ひて見る後の月
贈られし喜寿の祝ひや萩日和
月例の句会は蕎麦屋年の暮
サングラスかけて銀座の人となる

これからも、俳句を通して出会った句友と親しく十七文字の道を精進したいと思う。

終わりに、句会発足当時より、会場の確保、先生への連絡、句会終了後の句集の整理、メールによる送信等、いろいろお世話をいただいている江原代表幹事へ感謝の意を表します。

スポーツ観戦

ワセダスポーツ観戦、
60年超え…

吉村豪介(昭34・教育)



ワセダの野球をはじめ観たのは比較的ハッキリして、昭和22年春、イトコと共に行った“後樂園”の対帝大戦(まだ「旧制」です)で、エース岡本がゲーム終盤、故障して、新人荒川が急遽登板の末辛勝したゲームでした。

ラグビーは…という、これも昭和22年だと思うのですが、父に連れられて観た元旦恒例の慶応ー京大定期戦が始まりですが、ワセダラグビーの最初の記憶は、昭和25年、9対0で勝った対慶応戦でしょうか…アノ食べ物もロクにない敗戦後の昭和21年から、野球もラグビーも“復活”していたのですから、当時のプレーヤーたちに「畏敬」の念を抱かずにはられません。

戦後、相当長い間、神宮球場は接収されていて(Stateside Parkと呼ばれていたと記憶しています)、「六大学野球」は、後樂園、上井草、果ては明大球場(いまは校舎になっているらしい)等々転々としていましたが、昭和25、6年ごろだったか、末吉を中心にした投手陣と、両荒川に石井・宮原といった強打・好打者を擁したワセダ野球は頼もしくて、真に“追っかけ甲斐”(?)のあるチームでした。

ラグビーの「記憶」といえば、昭和27年9月17日の全早稲田対オックスフォード戦にとどめを刺します。オ大ラグビーチーム来日の裏には英ー米の激しい政治的駆け引きがあったようですが、ともかく戦後初めての外国人チームにワセダは大善戦、あわや「引き分けに持ち込めるか…」と胸を躍らせたその時に放たれたFBマーシャルのドロップゴールが高々とゴールポスト中央を通り過ぎた瞬間の「残念…」と思った気持ちは、背景の曇り空の色と共に忘れることができません。

こうして、野球、ラグビー、そしてアメ・フトを観始めて「半世紀」以上を経た現在、筆者は「スポ



ルネッサンス絵画模写教室のご案内

古典絵画技法によるルネッサンス期の絵画、ポッティチェリ、フィリッポ・リッピ、ラファエル、レオナルド・ダ・ヴィンチ等の模写をします。

興味のある方はお電話の上、見学にいらして下さい。

TEL. 03-3702-8332 上野毛教室 江口 瞳(仏文)

一ツ観戦部会」の一員ですが、この会では春秋の早慶戦、冬のラグビー早明戦観戦を定例としています。

ワセダスポーツに興味をお持ちの方も、お持ちでない方(?)もご参加ください。「増田屋」のおサケも多勢で頂くと一入美味しく感じますよ。

「勝った」時には、尚、一層!

麻雀

麻雀はツキ次第

脇坂元彦(昭34・政経)



私は麻雀が下手だ。おりることを知らないと言われたこともある。だから「ツキ(幸運)」のない時はからっきし駄目で、終盤で危険牌をも切ってしまうので相手は喜ぶ。逆にツイた時は凄い。麻雀部大会(8月を除いて月に1回、半荘4回戦)で201点という麻雀部史上最高得点で優勝したこともある。

初めて麻雀牌を見たのは国民学校2年生の時だった。転入してきた子に誘われ、遊びに行くと、彼は大事そうに木箱を取り出し、その引き出しを開け「これは麻雀牌だ。君、知ってる? うちでは家族で遊ぶんだ」と言った。現在の牌よりやや小振り、骨董品に見えた。きっと象牙使用の骨牌であったに違いない。

大学1年の時に麻雀のゲームを覚えた。教えてくれる同期生は後ろから3枚目の牌をめくって(それは九筒であった)「一筒」を示し、これを「ドラ」(「この場合は」を聞き損なった)と言って1枚あれば「一翻」と言った。なるほどドラとはよく言ったもので、船舶が出帆の合図に打ち鳴らすあのドラの音の銅鑼の図柄だと感心したものだ。

社会人現役時代に「天和」に恵まれたことがある。理牌すると次々と対子があり、七対子の天和と判明した。その後3ヵ月間は負け続けた。同僚によると、役満貫天和あがりの図柄を覚えておいて風呂敷とかタオルに染め抜いて周囲の人々に配るもので、それを怠るから負け続けるのだそうだ。確かにゴルフのホールインワンより稀なことだと思う。残念ながら図柄は忘れてしまった。

最近あがった役満貫に「国士無双」がある。相手は私が国士無双を狙っていると察知していた気配。3枚目の「南」が場に出た時に、南は既に手の内に入っていたから私の反応はなかったはずだが、他の区のベテラン先輩は私が諦めたかと勘違いしたとか。やがて「九筒」を切ってきて当方役満貫のあがり。

時には五感を巡らせ、相手の息づかいも判断材料にする緊迫したゲームもある。面白いが、あまり好

きではない。麻雀の勝ち負けは基本的には「ツキ」次第だと思っている。「つく」も「つかない」も実力のうち、和気藹々で麻雀を楽しみたい。

カラオケ

100歳めざして健康カラオケ

司会・倉田 豊(昭43・商)

日本の発明「KARAOKE」は世界各地で各国語で歌われ、人類共通の至福のときを演出します。月例会を盛り上げている80歳前後の永井憲一さん(昭28・法、昭6年生)、川井泰彦さん(昭29・理工、昭6年生)、内藤娃子さん(故内藤隆福令夫人、昭7年生)、清水明雄さん(昭31・政経、昭8年生)にお話を伺いましたのでご紹介します。



左から永井憲一、川井泰彦、内藤娃子、清水明雄の各氏

■「好みの歌手・ジャンル? ライブコンサート?」

永井 菅原洋一のコンサートに10数年必ず行く。

川井 五木ひろしのワンマンショーに毎年行く。

内藤 友人の喫茶店ライブでポップスを。

清水 家内と井上陽水のライブやミニライブに行く。

■「レパートリー曲目は現在何曲? リストに音程±付記します?」

永井 レパートリー100曲。曲目リストは持ち歩く。

川井 戦前のも含め数十曲位?

内藤 20曲位? ±音程はカラオケで出た音で歌う。

清水 50曲。最近音域が狭くキーに神経を遣う。

■「発表会の経験、カラオケの思い出?」

永井 幼年期に入っていた少年合唱団が県大会で優勝、NHK主催の全国大会で準優勝。陸軍病院の慰問などに駆り出された。

川井 現役の頃、公私の接待で銀座のクラブで歌ったのが懐かしい。

内藤 女学校の頃NHKの合唱コンクールに出た。

清水 下北龍一先生25周年記念会で歌う。

■「日頃の練習、教室に通う、CDテープで覚える?」

永井 退職後は専らカラオケ。CDで新曲を覚えるのが楽しみ。

川井 近所の人10人ぐらいと毎月2回、新曲をテープで2曲覚える。

清水 4年前から下北龍一教室で月1回レッスン。15分発声練習後に新曲を1時間半練習し、翌月発表。

家では指導付きテープを購入し覚える。

■「歌う秘訣は？腹筋使う姿勢などを教えて」

永井 気分よく発声するには起立して歌う。

内藤 膈下丹田に両手を乗せ、5回数えて息をお腹まで入れ10回でこの息を吐く。これを何回かやる。

清水 腹式呼吸を完全にできるようにしたい。

■「何か楽器を演奏しますか？ またはやってみたい楽器は？」

永井 ハーモニカぐらい。

川井 五木ひろしを見て現在ギターに挑戦している。

内藤 三味線で長唄、小唄を少々。

■「これからの夢？ 自分のCD作成？」

川井 夢だが自分のCDを作ってみたい。

内藤 80歳で声も衰え音程おかしくなることも。“遥かな友に”1番だけを亡くなった友人に捧げるCDを1枚作った。

清水 一本調子でなく強弱を付けて雰囲気のある歌い方を目指したい。

「皆様の貴重なお話し有意義でした。有難うございました。」

さて、そもそも本会は囲碁部の流れから平成13年10月に会長を斉藤政二郎、代表世話人を故蒲原信一から清水明雄にと諸先輩の尽力で設立して10数年。拠点を三軒茶屋から下北沢に移し、締めめの校歌斉唱で稲門会の品位を受け継いでいます。今、私の手元の<2006年古賀政男音楽記念スタジオ製作『歌は我が友♪』全10曲 唄内藤隆福 百一歳 明治38年5月15日生>のCDを聴くと、張りのある声で生きる力の素晴らしさが伝わります。104歳で亡くなるまで歌っていたのでしょう。心から敬服します。せめて我々も“100歳めざして健康カラオケ”で大先輩の長寿にあやかりたいものです。

芸術芸能鑑賞

「芸術芸能鑑賞部会」は 人生の糧

武藤 哲(昭28・法)



当部会は平成20年6月に鈴木副会長の尽力により設立された部会で、歌舞伎・文楽・落語・演劇そして音楽等を対象とする分野で、小生も賛同して即入会、以後数々の演目に参加、楽しませていただいております。

■音楽関係 日比谷公会堂でのポピュラー音楽祭、中野サンプラザホールでの懐かしの映画音楽アルバム、いずれも毎年1回開催。シャンソン、ラテン、タンゴ、ジャズ等、それぞれのジャンルを代表するアーティストの競演で青春時代を思い出す素晴らしい

祭典。毎年の参加が楽しみ。韓国で話題の新星、フィージンの日本での初ライブを22年8月に椿山荘で、また、23年1月紀尾井ホールで開催(美智子皇后臨席)。38歳の鋭いテノール歌手で、人々の心の奥深くに届く美しいその歌声は、聴く者をやわらかに優しく包み込み、満席の会場を酔わせて、多数の名曲を熱唱。いつまでも心に残る素晴らしいコンサートでした。

■落語会 三越劇場において年に3~4回開催。バラエティに富んだ若手・中堅・古参5名での競演。お笑いは楽し、健康に良し!

■文楽 国立劇場において、23年5月「人形浄瑠璃」を観劇。竹本源太夫と鶴沢藤蔵の襲名披露口上の舞台。終演後、若手女形の第一人者、豊松清十郎さんの案内で舞台裏見学や稽古場での実物の人形を手にした体験もあり、大変楽しいひとときでした。

■演劇 21年4月、明治座での松本清張生誕100年記念の「黒革の手帖」(米倉涼子主演)。22年8月、三越劇場での劇団若獅子の「知覧」「螢火」。いずれも記憶に残る素晴らしい作品。

当部会も発足時20名強から現在40名超の会員数とか。世話人の方はイベントの開拓から切符の手配まで大変なご苦労、心から感謝しております。お陰様で、老後、楽しい人生の糧とさせていただいております。

囲碁・将棋

囲碁隆盛の復活を期して

池松正之(昭57・商)

私の酒飲み相手は半分位が囲碁を通じての方々です。9割以上は目上で、父親と同世代の方も大勢いらっしゃいますが、話題に詰まり困ることは全くありません。やはり共通の趣味、就中「手段」の別称もある囲碁の魅力のなせる技でしょう。

数ヶ月前の平日夕刻、久方ぶりに新宿の碁会所に寄り、とても寂しい気分になりました。3軒廻ったのですが、何れも「すみません。只今お相手がいません」という席主のすまなそうな返事ばかり。9時、10時ではなく、まだ6時前の出来事です。思わず往事(私はまだ53歳。そんなに昔のことではなく、たかが10~30年前位の話です)を偲びました。勤め帰りに馴染みの碁会所に立ち寄った後、人生の先達でもある囲碁仲間と一杯飲みながら、囲碁談義を超え、時には貴重な体験や人生訓を頂いたことも…。本当に楽しかった。

今、日本人の囲碁離れは極めて深刻です。象徴的な実例をひとつ。私が碁会所通いを始めたのは高校

1年、昭和49年の時です。以来38年、未だに“平均的”碁会所（こども教室等で若者への普及活動を図っていない昔ながらの碁会所のこと）では私が最年少者になることがかなり多いのです。つまり、15歳が53歳になっても、初めての碁会所では「お、若いのが来たな」てな感じで注目され続けています。笑い話ではすまされません。

囲碁という芸術が廃れていくことは、同時にそれを通じての素晴らしいコミュニケーションも失うことにつながります。先達からの様々な教え（そんなに大げさなことではありません。若輩者に対してのちょっとした気配りやコミュニケーションの取り方、そして格好良いおごり方等です）を引き継ぐのは自分の使命であり、それがささやかな恩返しにもなると考えています。

幸いにして、囲碁部は30代の入部をはじめ、ちょっと活気づいてきました。これを機に若手との橋渡し役に努めたいと思います。



御大と若手が一緒に

食べ歩き

食べ歩き部会20年のあゆみ

関根昌一(昭23・法)



「食べ歩き部会」は平成6年、沼田宣子さんが代表世話人となり発足した。当初27名の入会があり、第1回は五島美術館見学と「花のれん」にて会食、以後第5回まで行われた。毎回参加者は10名前後であったが、会員にとって楽しい語らいの場であり、新知識の吸収の場でもあった。残念なことに、諸般の事情にて休会となってしまった。

平成11年7月に戸井田幸雄氏が代表世話人となり、今日の「食べ歩き部会」が再発足した次第である。以後、麻生卓司氏を経て、大須賀肇氏が代表世話人となり現在に至っている。第1回目は「箱根湯本ホテル」にて会食、箱根散策の日帰り旅行でスタート。これより年4回のペースで行われ、平成24年は9月18日に第53回が「シェ松尾・青山サロン」

にて開催された。

さらに会員の希望により特定の催しを「有志の会」として設け、春秋2回府中競馬場で「競馬観戦昼食会」も行われるようになった。

当初20余名で発足した会員も現在74名の大所帯となり、会場の設定、料理の選定、価格の調整等に苦勞することもあるが、世話人一同は会員相互の親睦推進のため、より一層の努力を重ねている。今後とも会員の皆様のご支援、ご協力をお願いする次第である。



食べ歩き部会によせて

辻村ひろみ(昭29・教育)

「食べ歩き部会」へ入会して、かれこれ10年近くになるでしょうか。年4回企画されるお食事会、時に都合悪く参加できないこともありましたが、かなり数の名店の味を堪能させていただいたこととなります。私の初参加は、西早稲田にある吉村作治先生ゆかりのエジプト料理を味わう会で、早大構内の散策・演劇博物館見学などの後の食事で、興味深いものだったと記憶しています。

これまで行きたいずれのお店にもそれぞれ趣があり、味にも定評があるので、独特の雰囲気の中で至福の時を過ごしてきました。会員同士の和やかさは言うまでもありません。回を重ねて、この会の評判は良く、噂を呼び会員も増えて、他の地域からの入会希望もある由です。

ただ、この大所帯の世話役をなさる方々にとっては、和・洋・中のお店の選定から、味・場所の広さ・交通手段などの下調べにご苦勞が多いと聞いております。私ども会員は、この陰のご努力の上に安直な気分で懇親の会へ出席している訳でして……。

感謝を忘れず、この会の継続とご発展をお祈りしたいと思っております。次はどこのお店の何をいただけるのが楽しみです。

釣 り

醍醐味は魚との駆け引き

國澤俊一(昭43・理工)



世田谷稲門会の釣り部会は平成11年に発足いたしました。私が参加させて頂きましたのは約6年位前になります。発足当時からの会長であります柴田さんから勧められたのがきっかけでしたが、元々年に数回の沖釣りを楽しんでいましたので喜んで参

加いたしました。

現在釣り部会は沖釣り（船釣り）と内水面（湖沼・川）とそれぞれの月例会で会員相互の親睦を図り楽しんでおります。

皆様も少なからず経験がお有りかと思いますが、私も幼少の頃の小川でのザリガニ取りや小魚釣りが今日の釣り愛好の原点となっております。

釣りの楽しみは当日前から始まります。近年ネットでの検索が簡便になり、釣果情報や仕掛け、魚種ごとの釣り方ビデオまで出ておりますが、これらの情報をもとにあれこれ考えを巡らして楽しく準備をいたします。

しかしなんと言っても釣りの醍醐味は魚との駆け引きにあります。魚の種類によっても、地域によっても釣りは千差万別ですが、いずれも魚を騙して釣り上げることに他なりません。そして魚が当たった時のビクビクと竿先を通して伝わる感触は、何物にも代え難い興奮と感激の瞬間となります。

狙う魚種はいろいろで、真鯿・真鯛・イナダ・ワラサ・ハゼ・シロギス・カワハギ・タチウオ・スルメイカ・ヤリイカ等々ですが、いずれも釣りたいの新鮮で食しても美味のものばかりでお土産一杯、家族から喜ばれております。たまにボウズ（釣果ゼロのこと）で食卓にご飯だけのことも有りますが。

また特筆すべきことは船からの眺望です。お台場近辺から見る朝靄にかすむスカイツリーと整備された運河と高層ビル群。東京湾から眺める緑豊かな三浦半島と千葉の山並み。相模湾から望む雄大な富士山。近年、遊漁船も清潔な新造船が増えてサービスもよくなっております。のんびり船上で釣りでもいかがですか？ ご参加をお待ちしております。

余談になりますが、実は本当の釣り師は後処理であります魚さばきを見事にこなして、お造り、煮付け、焼き物、蒸し物等を皆に振る舞うとありますが、小生これが全くできません。全て女房のお仕事です。

よって大漁のお土産を持って帰った時は、少々怖い顔をして、「ものには限度っていうものがあるでしょ！」

ウォーキング

楽しくなければウォーキングじゃない

横山 徹(昭56・社)



早稲田を卒業して20年余り経った頃、ほとんど運動をしなくなった自分がありました。若い頃は山登りや水泳をやっていましたが、仕事が忙しく、まとまった休みも取りにくい。でも歩くことは好き。そのようなとき、世田谷稲門会の入会案内をいただき、部会がいくつかあると知りました。中でもウォーキング部会が月1回、しかも日曜日を中心に開催されるとのこと。現役の身にとっては参加しやすかったことも手伝って、すぐに入会しました。

まだ歩いたこと、行ったことのないコースが思いのほか多く、東京に生まれ育ったのにすごく新鮮だったことを覚えています。その後、世田谷区内はもちろん、23区内外、ときには埼玉、千葉、神奈川へと足を伸ばしています。

認知症を予防する、メタボや高血圧、高脂血症、糖尿病の改善になる、便秘も解消できる、肌にも良いなど、いいこと尽くめのウォーキング。さらに他の運動と比べての長所をあげると、①技術習得の必要がない、②負荷管理の問題がない、③装備の問題がない、④場所を問わない、⑤季節を問わない、などがあります。

それから不思議なことに、話し相手がいると、一人で歩くよりもずーっと楽しく感じることが出来ます。それがウォーキングを長続きさせることにも、励みにもなります。

ウォーキング部会は、数少ない運動のための部会であり、決まりごともなく、和気藹々とした集まりです。とりわけ、アフターウォーキングの楽しみも増えます。汗を流した後の一杯のビールは格別です。それこそ、楽しくなければウォーキングじゃないと思います。ほぼ毎回、歩き終わった後はゴール近くの居酒屋で、その日歩いたコースなどを肴に大

世田谷稲門会 20周年を期してお祝いを申し上げます。

当店では、土倉会長様以来の世田谷稲門会会報を制作させて頂き、代々の世話役幹事様には大変お世話を賜り心より感謝申し上げます。

世田谷稲門会の益々のご発展をお祈り申し上げます。

安く、早く、美しく

会報、挨拶状、名刺、封筒、カラーチラシ、自費出版、会社案内、等

印刷一般
KIP 株式会社 京一プリント

TEL:03-3664-1007 FAX:03-3664-1008
E-mail:1007@kip-n.jp

勢で盛り上がりますので、こちらの好きな方の入会も大歓迎です。

人は足から衰えるといわれます。宇宙飛行士が帰還して、一人で立つことができないうのをテレビで見た方もいると思います。長期入院をしてベッドで寝ただけで、1週間で30%も機能が失われてしまうのだとか。廃用性萎縮にならないためにも、楽しく歩いて、健康で長生きしようではありませんか。

写 真

写真を楽しもう

守谷之男(昭29・理工)



世田谷稲門会に写真部会が誕生して今年でちょうど10年になりました。現在の会員は14人と発足当時より若干減ってはいますが、発足当初の「写真を楽しもう」をモットーに、月例の部会を中心に活動を続けています。

写真の世界はここ20年ばかりの間にすっかり変わってしまいました。部会設立当初のアンケートでは、デジタルカメラを使っている人がわずか3人でしたが、最近では大部分の人がデジカメ派になりました。この結果、画像データをパソコンに取り込み、プリンターで写真を制作する人が大部分です。そのためかプリンターにも大きな関心が集まっています。

例会は、会員それぞれが自分で撮った写真をプリントして発表することになっています。用紙やサイズは自由で、テーマにも制約はありません。各地への旅行の風景、街中のスナップ、庭先の花など、いろいろな作品が、光沢のある写真用紙や光沢のない和紙のような紙に、作者自身が選んだサイズで作品として仕上げられています。

また、発表できる写真がない場合でも例会の出席は自由です。持参した写真はボードに掲示してそれぞれの作品のポイントを説明し、その後、全員で写真を間近で見てから、感想や意見を発表します。

「写真を楽しく」がモットーですが、より良い写真をとる意識があるので、作品に対して、構図が良くない、色がくすんでいる、ピントがあまいか手ぶれ？などの厳しい評から、人の表情が生き生きしている、薄暗い所なのに細かい部分まできれいに撮れている、滝の流れが生々しい、日の出の光線がきれい、などの感嘆の声も出ます。時にはカメラやレンズの種類から絞りやシャッタースピードなどの細かい写真データにも質問が及びます。こうして2時間ほどの部会が終わると、レストランに席を移します。

ここでも食事をしながら、最新のカメラや各地のロケ地情報の交換、時には新型カメラの披露、時に

は「古いライカのレンズの出物がありませんか？」などの声も上がることもあり、写真を中心にした話題で持ちきりです。

このほかに部会としては、世田谷稲門会の新年会や総会の会場をお借りして会員の作品発表会なども行っています。私自身、仕事の記録写真から始めましたが、部会活動を通して経験を積んだ結果、多少なりとも良い写真が撮れるようになったのではないかと自画自賛しています。

パソコン

私とパソコン、そして林住期の手習い

照喜名 隆(昭44・文)



生来、不器用を自認する私は機械に弱かったのです。仕事でパソコンやコピー機類の使用が必要な時は若い人達に代行してもらいました。私は完全なアナログ人間で、反デジタル人間でした。パソコンの必要性はそれまで少しも感じませんでした。

そんな私がパソコンと付き合いきっかけになったのが、世田谷稲門会に入会した事でした。稲門会の幾つかの趣味の会に入っていた私は、ある先輩からパソコン部会という趣味の会に入ってみないかと誘われたのです。別にパソコンは私の趣味でもなかったのですが、なんとなく入ってみようかなという気持ちになったのです。

しかし全くの初心者の私が突然入会しても部会の皆さんに迷惑をかけるだけだと思い、初めてノートパソコンを購入し、家の近くのパソコン教室に通う事にしたのです。何と！教室に通うなどという事は、大学卒業以来記憶にありません。週2、3回、数カ月、数万円を費やして基礎中の基礎、初歩中の初歩を習い、去年の夏パソコン部会に入会しました。

入会したのは良いのですが、部会の皆さんと技術的に雲泥の差がありました。月とスッポンです。当初心配していた通り、皆さんについて行けず置いてきぼりは毎度の事でした。大分落ち込みましたが、部会の皆さんの温かい指導のお蔭と、少しでもパソコンに触れて親しめればという思いで、1年以上、部会のある渋谷の松濤に通い詰めています。

部会のスケジュールは隔週の火曜日、月2回です。1回の部会の時間は2時間です。1年以上も通っているのですが、技術的にはあまり進歩がありません。今年の夏も世田谷区のパソコン教室に通いましたが、相変わらず悪戦苦闘しています。実のところ、私にとっては、「たかがパソコン、されどパソコン」が本音の心境です。

しかし、部会に今でも通い詰めている理由は別なところにもあるのです。部会が終わった後の有志による分科会なるものが渋谷の街であるのです。このコミュニケーション場がなかなか魅力的なのです。この件につきましては、また機会がありましたら。

青年部

平日の夜、自由に異業種交流

中島史郎(昭59・法)

世田谷稲門会創立20周年おめでとうございます。20年前に世田谷稲門会を創立し、その礎を築き、会員数400名を超える都内有数の地域稲門会となるまで当稲門会を育ててこられた諸先輩のご尽力、献身に敬意を表します。

私が属する青年部は、世田谷稲門会の20年の歴史の中では最も新しく生まれた部会の一つです。若い世代の校友にもっと世田谷稲門会に参加してもらおう、せっかく参加してくれた若手には世田谷稲門会の活動をより楽しんでもらい、稲門会に定着してほしいとの諸先輩方の思いに基づき、平成22年1月に発足しました。発足後まだ3年に満たない部会ですが、「仕事があっても参加できるような部会がほしい」、「若手でも参加しやすく、楽しめる場がほしい」等の現役世代の要望に応え、平日の夜に居酒屋等で懇親・交流会を行っています。

早稲田と世田谷という共通点でつながる多士済々な異業種のメンバーが定期的に集まり、会食しながら楽しく交流しております。談論風発の場を若い世代の会員に提供するサロンとなると共に、世田谷稲門会の趣味の部会、ブロック会等の活動について情報交換等を適宜行い、世田谷稲門会の他の活動との橋渡しを行うことも企図しています。

青年部と名乗っていますが、実際には年齢制限は設けておらず、現役で仕事をされている「青年の心を持つ方」であれば、ご参加頂いています。部会員は、現在20名程度ですが、気兼ねなく話せる仲間が自由に「集まり、散じ」る雰囲気を持続出来ればと思っています。



2012年9月3日、懇親会にて

どんな組織であってもそれが長年にわたり持続し、発展して行くためには、新しい人材、若い人材が継続的に加わり、組織の中でそれなりの役割を果たしつつ、適切に世代交代が行なわれることが不可欠と思います(もっとも、これは必ずしも20代30代の若年層が多く組織に加入しなければいけないという意味ではありません)。

その意味で、世田谷稲門会が活力を保ち、また今後益々の発展を遂げ、創立50周年、100周年を賑々しく迎えるために、私たち青年部が果たすべき役割も大きいと思います。より一層青年部の充実に務めて行く所存です。

レディースクラブ

ファミリー会員募集と

レディスクラブ発足にあたって

柏 良子(昭31・政経)



世田谷稲門会に入会して、初めて「新春懇親会」に出席した時のことでした。仲睦まじいご夫妻と隣り合わせの席でした。会が進むにつれ、ご主人が私と同じ学部の2年先輩で雄弁会ご出身とのこと、共通の知人もおり、会話がだいに盛り上がりました。でも、ご夫妻とはその日以後お目にかかることが出来ませんでした。先輩が数カ月後にご他界されたからです。とても残念なことです。以後、このような事例が何度かありました。

懇親会等にご夫妻で毎回出席下さる方が、会員がみまかられると配偶者はそのまま稲門会とのご縁が切れてしまう。とても淋しいことです。せっかく出来たご縁です。ずっと繋がりを保持したいと願っておりました。この度、6月の総会で準会員制度が発足することになりました。とても嬉しく思っております。準会員である「ファミリー会員」の募集も始まっています。

稲門会には13の「趣味の部会」があります。ご夫妻でも趣味が同じとはかぎりません。夫唱婦随ではなく各自がご自分に合った部会に参加して頂けたらと思っています。ぜひファミリー会員にご入会下さい。

そして、ファミリー会員と私たち女子会員が力を合わせ、「レディースクラブ」を立ち上げませんか。世田谷稲門会の女子力の向上にお力添え下さい。「おいおい、力を発揮するのは家の内だけで充分」などと顔をしかめる男性会員もおられるかもしれませんが、世田谷稲門会がより大きく発展し元気になるための一つと、大らかにお考え頂けたらと思います。

◆世田谷稲門会役員(平成24年12月現在)

会長(常任幹事)	岩上健一	昭和36年 法	
副会長(常任幹事)	井澤貞夫	昭和35年 理工	幹事長
副会長(常任幹事)	鈴木宏治	昭和38年 商	部会総括
副会長(常任幹事)	露木 茂	昭和38年 政経	イベント統括、LC統括
副会長(常任幹事)	横田吉明	昭和38年 商	ブロック統括、23区支部担当
副会長(常任幹事)	島田 實	昭和40年 法	副幹事長、広報HP統括
常任幹事	武居達治	昭和39年 法	事務局長
幹事	熊谷慶紀	昭和38年 政経	ブロック担当
幹事	国澤俊一	昭和43年 理工	部会担当
幹事	桃井清治	昭和44年 政経	事務局、会計担当
幹事	林 馨	昭和45年 理工	事務局
幹事	榎並俊一	昭和46年 理工	広報HP担当
幹事	薄井好雄	昭和47年 商	事務局
幹事	戸田 昇	昭和47年 政経	ブロック担当
幹事	篠崎章子	昭和52年 政経	LC担当
幹事	中島史郎	昭和59年 法	青年部担当
監事	寺島邦夫	昭和38年 政経	青年部統括、広報HP担当
監事	山田 昭	昭和50年 政経	
顧問	土倉享一	昭和34年 政経	
顧問	柏 良子	昭和31年 政経	LC統括補助
顧問	麻生卓司	昭和34年 政経	

(注記) LCは「レディースクラブ」の略

世田谷稲門会創立20周年記念誌

平成24年12月20日発行

- ◇発行者 岩上健一(昭36・法)
- ◇企画・編集 世田谷稲門会広報委員会
- ・統括 島田 實(昭40・法)
- ・委員 榎並俊一(昭46・理工)
- ・委員 鈴木宏治(昭38・商)
- ・委員 川村保夫(昭34・商)
- ・委員 寺島邦夫(昭38・政経)
- ・委員 兼子信子(昭43・教育)
- ・委員 江原利次(昭31・商)
- ・委員 大内秀行(昭39・法)
- ・委員 若林昭男(昭31・理工)
- ・委員 鷺巣俊子(昭44・文)
- ◇デザイン・レイアウト 鷺巣俊子
- ◇印刷 (株)京ープリント

◆20周年記念誌作成に

ご寄付いただいた方

大西幸男(昭40・法)

〔編集雑感〕

永いようで短かった20年。世田谷稲門会の今昔を振り返るとき、私はそう感じずにはいられない。世田谷稲門会が諸先輩のご尽力で平成4年に創立され、現会則の母体となる世田谷稲門会会則が制定された。平成7年10月には会則を改訂、ようやく会の活動が活発化し出したのもこの頃からである。

その後、平成10年5月、平成12年5月、平成14年5月、そして平成21年5月、それぞれ会員総会で会運営の根幹である会則を改訂し、ブロック会設置等、その都度組織の拡充、活動の活性化を実行し、今日の礎を築いて頂いたというのが実情である。

そして今年6月の会員総会では、会員拡大及び地域社会への会活動の浸透を目的に、会則の一部を改訂して“ファミリー会員制度(準会員制度)”を発足。今後はこの制度を通して、世田谷の地に大きく活動の根を張るべく、その一步を踏み出した。

この間、縁あってのちの会則改訂の全てに立会い、つぶさに世田谷稲門会の成長の流れを見てきた私にとっては、あたかも20歳になる我が子の成長を見続けてきた感さえあり、感慨無量とはこのことをいうのであろう。

末筆ながら、本誌編纂に当り、お祝いのお言葉を頂戴した大学関係、近隣稲門会、そして世田谷三田会の皆様、本当に有難うございました。また、たくさんの原稿や広告をお寄せ頂いた会員の皆様、誠に感謝に堪えません。そして、早くから業務分担を整え、昼夜を分かたず、編集作業に打ち込んで頂いた広報委員の皆さん、本当にご苦労様でした。心から感謝申し上げ、お礼の言葉とさせていただきます。

(広報統括・島田 實/記)

世田谷 **祝** 稲門会

20周年

太陽と風が拓く新しい時代

クリーンエネルギー事業に挑む



千葉県で開発中の「銚子エコパワーパーク(10MW発電所)」イメージ

NSH エヌエスホールディング株式会社

代表取締役 島田 實 (昭和40年法卒)

世田谷稲門会
創立 **20** 周年



早稲田大学 世田谷稲門会